

## 畝傍南小の電車通学について

### 1 西池尻地区の電車通学について

① 1950年頃、西池尻の旧村より本校に通学していた児童は、久米町の墓の前の道路（現在の榎原学院前道路）を通学していたようであるが、痴漢騒ぎが発生したため、育友会と学校が話し合いを重ねて電車通学を決定するに至ったようである。

これ以後、保護者の中には徒歩通学を希望する意見を主張する者、電車通学を希望する意見を主張する者等、様々な意見が渦巻いていたようである。

② 西池尻1-3部団（現在21人）は久米町に近く、駅まで行って電車を利用すると遠回りになるので、徒歩通学させたいという意見が多く出てきた。

グリーンコーポ南西の里道は竹藪に囲まれた細い憂蒼とした道であったが、周辺の住宅開発が進むことによって次第に明るい道へと変化してきた。そのため、より強く徒歩通学の願いが学校へ寄せられたため、話し合いを持ち平成14年4月1日から徒歩通学へ変更した。

③ 西池尻部団 179人 （電車通学 158人、徒歩通学 21人）

### 2 吉田町の電車通学について

学校までの距離は吉田町が西池尻町より遠いので、西池尻町が電車通学になった経緯と同じようである。現在吉田町で7人が電車通学をしている。

### 3 畝傍町の電車通学について

昭和27年、1952年4月より、学校から遠いこと、野球場前の交差点が危険であることによって、電車通学が始まったようである。現在畝傍町で5人の児童が電車通学をしている。

4 畝傍南小学校の電車通学児童は、全校児童430人中170人（約40%）である。

### 5 電車通学に関する学校からの所見

① 交通費が1ヶ月の定期代で1020円かかる。3ヶ月や6ヶ月単位で購入するともう少し安くなるが、落としたり無くしたりすることもあるので、1ヶ月単位の購入が多い。

② 決まった時刻の電車に乗ろうとするために急いでしまうので、安全確保が難しい時がある。過去5年間で通学途中交通事故に遭った件数は1件である。（忘れ物を取りに帰る途中、電車の時間を気にして、道路を横断するとき左右確認を怠ったため車と接触した）

③ 電車のマナーについては、駅までの見送り時や学級指導及び全体指導等で徹底的に指導をしているが、何か事故が発生しないかと、部団長が気を使っている。ホームに物を落として駅員さんに拾ってもらったことは、数え切れない。また、連結器に登ったり、駆け込み乗車を

したり、階段を転げるように駆け下りたりして注意されたことが、何度もある。更に、ホームへの忘れ物も多く、駅や利用者の皆さんに多大な迷惑をかけている。

- ④ 地域の方や保護者の方に下校指導をしていただいているので、帰りは絶対に決まった電車に乗せなければならず、遅れることができない。そのため、授業が終了してからの時間に追われてしまい、終わりの会に出た1日の困った出来事をゆっくり聞くことができない。問題が発生していても、その日のうちに解決できないままで帰さなければならない。(徒歩通学でも同じようなことが言えるが、若干の余裕がある)
- ⑤ 日曜参観や運動会など休日に行事があるときは、運行ダイヤが変わるため、その連絡や対応が大変である。
- ⑥ 雨が降った日は、駅のホームに入るまでに時間がかかり、一部の児童がその電車に乗れないことがあった。また、濃霧や豪雨等で電車が遅れて到着し、始業時間に間に合わないこともたまにある。
- ⑦ 全校一斉で下校させるとき(毎週水曜日)は、ホームからあふれてしまい危険なことも多い。また、一般乗客に大変迷惑をかけている。ホームで待たせるときは端に座らせる等工夫もしているが、ホームのスペース上十分な対応ができない。
- ⑧ 高学年が痴漢に遭いやすい。2年前にも発生した。また、連れ去りの心配は、学校、保護者ともに絶えず抱いている。
- ⑨ 冬季、インフルエンザが流行しているとき、感染しやすい。
- ⑩ 畝傍部団は人数が少なく、安全確保のため、低学年は家の人に橿原神宮前駅まで迎えにきてもらっている。